

常総市
じょうそう
市議会だより

主な記事

- 一般質問(2月定例会議)…………… (2)～(11)
- 審議された主な議案…………… (11)
- 2月定例会議の審議案件と結果…………… (12)
- 行政視察受入れ…………… (13)
- 5月定例会議日程…………… (14)
- 議長のひとこと…………… (14)

- 責任者 常総市議会議長 風野芳之
- 編集 議会だより編集委員会
- 発行 常総市議会

221号

2018.5.17
発行



第18回水海道千姫まつり
千姫さまご回遊



一般質問

2月定例会議

3/6、9の4日間にわたり17人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨の一部を掲載しています。
※原則として平成の元号は省略しています。

3. 遠藤 正信
ENDO MASANOBU
●高齢者の免許証自主返納について
○平成29年度環境年報について
○国民健康保険事業について
P.4

2. 岡野 一男
OKANO KAZUO
●防犯対策について
○労働契約法第18条について
P.3

1. 中村 博美
NAKAMURA HIROMI
●市立幼稚園5園の統合計画の具体案は
○予約型乗合交通について
○緊急通報システムについて
P.3

6. 倉持 守
KURAMOCHI MAMORU
●公共交通の利用状況と今後の運営について
○家庭ごみについて
P.5

5. 坂野 茂実
SAKANO SHIGEMI
●通学路の環境整備その後の対応と対策について
P.5

4. 寺田 洋
TERADA HIROSHI
○子どもたちの交通安全指導教育について
●常総マイスターの認定について
P.4

9. 中島 亨一
NAKAJIMA RYOICHI
○公務員の副業解禁について
●アクティブ・ラーニングについて
P.7

8. 石川 栄子
ISHIKAWA EIKO
○低所得対策について
●農業問題について
○学校図書館について
P.6

7. 小林 剛
KOBAYASHI TAKESHI
●常総市の歴史的遺産の認定及び歴史的資料の継承について
P.6

12. 喜見山 明
KIMIYAMA AKIRA
○「農地等の利用の最適化の推進」及び農業委員活動の実態について
●水海道排水機場の件
P.8

11. 中村 安雄
NAKAMURA YASUO
●合併特例債事業の実績と今後の計画
○市農業振興策の実績と新制度の取り組みについて
○教職員の長時間勤務、その後の進展は
P.8

10. 堀越 道男
HORIKOSHI MICHIO
●自治体が自治体でなくなる「公共施設等総合管理計画」批判
○国保問題について
○下水問題について
P.7

15. 茂田 信三
SHIGETA SHINZO
●産婦人科医の設立進捗状況について
○石下総合福祉センター南側市有地について
P.10

14. 新田 宏安
NITTA HIROYASU
●常総市の業務委託の実状について
P.9

13. 関 優嗣
SEKI MASASHI
○茨城国体に向けた取り組みについて
●ペーパーレス化について
P.9

17. 堀越 輝子
HORIKOSHI TERUKO
●菅生沼とその周辺地域の活性化について
○若い世代を対象とした定住促進事業について
○高齢者施設について
P.11

16. 大澤 清
OSAWA KIYOSHI
●常総市公共施設について
P.10

ずばり 市政を問う!!

●が今回掲載した質問で、本文中の固有名詞は、質問議員の意向により掲載しております。(質問事項を通告順に記載) 各議員の質問内容の詳細は、スマートフォンからQRコードを読み取り、動画として見る事ができます。



幼稚園の統合計画は何処へ

市立幼稚園5園の統合計画の具体案は



議員

市立幼稚園5園の統合計画の具体案を教育委員会としてどのように協議されたかを尋ねる。

教育部長

5園のPTA役員や園長等で構成する「市立幼稚園のあり方検討会」を組織し、保護者の意見を伺い社会情勢の変化を考慮しながら教育環境を早期改善する方法を検討し、東部地区は玉幼稚園、西部地区は飯沼幼稚園を改修して統合する計画である。

議員

その計画は決定なのか。

教育部長

決定ではなく、方向性として

の結果である。

議員

決定ではなくてよかった。確かに、幼児数は、20年から30年にかけて38%減少している。しかし、自分の地域から幼稚園がなくなることにについては、保護者の皆さんからの理解を得るのはなかなか難しいのでは。保護者の皆さんの意見の集約はなされているのか。

学校教育課長

保護者の皆さんの意見は統合にほぼ一致しており、早急との意見が多数である。しかし東部は玉幼稚園、西部は飯沼幼稚園の案は示していない。

議員

東部地区については、合併前に統合幼稚園用地として取得した石下福祉センター南側を案として示した時期もあったが変更になったのか尋ねる。

教育部長

今ある幼稚園を改修し統合する方向での提案で、福祉センター南側の幼稚園用地は利用しない予定である。

議員

保護者の皆さんのお気持ちが一番ということ、その点に配慮して進めていただきたい。

問 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 質 問



動く防犯カメラ

防犯対策について



議員

当市の刑法犯発生件数は、40件と聞いています。県内44市町村のうち28番目であり、昨年と比較して141件減少している。これは警察や地域の防犯協会の皆さんのパトロールなどの活動が功を奏していると感じ、感謝している。この防犯対策について、当市で所有している車両の中で青パト、あるいはパトロール業務に活用できる車両は何かあるか。

経済環境部長

現在、生活環境課に防犯パト

議員

5校に5台ということだが、水害などの影響もあると思うが、私は少ないと感じている。以前青パトの設置を提案したが実現に至っていない。昨今、ドライブレコーダーの売り上げが倍増しており、安全運転を支える目になっていく。カメラは忘れることなく記録できるので、このドライブレコーダーを定点の防犯カメラの代用として、公用車に搭載してはいかがか。

経済環境部長

ドライブレコーダーは動く防犯カメラといった、市民の防犯上の役割も果たし得ると考えられるので、その効果を検証するため、今後試験的に防犯パトロール車に設置を検討したい。

議員

設置はいつ頃を目的に考えているか。また、このドライブレコーダーを市民のために活動している方の車両に搭載し、その一部を補助してみたいかがか。

経済環境部長

予算的な部分も含め、できるだけ早い方向で検討したい。

中村 博美 議員

岡野 一男 議員



運転免許返納後のサポートを

高齢者の免許証自主返納について



遠藤 正信 議員



議員
市では近年増加傾向にある高齢者による交通事故の減少を目的に、運転に不安を感じている市民の方が自主的に運転免許証を返納しやすい環境づくりに向けて、高齢者を対象とした支援補助を行っている。現在の免許自主返納の新制度の問題点、また制度の継続等、今後の拡大計画、市では今後どういう対応をしていくのか。

経済環境部長
運転免許自主返納支援については、本年1月から開始し、2月末現在、20人の方から申請が

あった。支援事業では、予約型乗合交通ふれあい号の利用券2万円分を交付し、交通事故の防止、交通安全確保のために実施している。ふれあい号の利用では一定の制約があり、一般タクシーとは利用形態が異なるが、1回の利用料金が250円と低額であることから、市の活性化の一助になることも期待されている。今後も利用者の方から意見を伺い、利用しやすい内容になるよう見直しなどを検討したい。

議員
市には免許取得者はどれくらいいるのか。対象となる65歳以上の免許証を所持している方の人数を伺う。

生活環境課長
30年1月末現在で約4万4千400人。うち65歳以上の方が約1万1千400人、約3割程度になる。

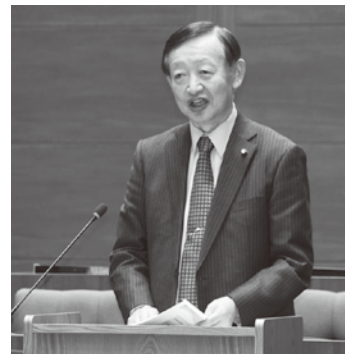
議員
安全性を考えると免許を返納したいけど、交通の便が悪いため返納できない方もいる。隣接する自治体といろんな協定を結んで、常総市との接点をうまく利用して市民が便利に移動できる範囲を拡大する可能性に力を注いでいただきたい。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問



市独自の認定を

常総マイスターの認定について



寺田 洋 議員



議員
国、県でいろいろなマイスターがあると思うが、特にいばらき観光マイスターについて説明いただきたい。

経済環境部長
いばらき観光マイスターは、試験制度になっており、29年2月にその試験を実施し、1010人が受験して576人が合格している。エリアごとに県内の観光地の情報を試験問題にし、一定の基準を合格した方が県からマイスターとして認定を受けている。

議員
私案だが常総マイスター、こ

れを市でつくることを提案したい。市全般の知識を有する方を育成するというもので、観光マイスター同様に市内の観光地、農産物、名産品を知ることがもちろん、市の歴史ある建物、伝統行事などの知識を勉強する。また、市内の工業団地の中には世界に誇れる技術を持つ企業もあり、これを紹介したり知っておく必要がある。このような市全般で知る人を育成する、そのような常総マイスターという認定者をつくれぬか提案したいかがか。

経済環境部長
貴重な提案を受けたので、常総マイスター制度の認定基準や活用方法、養成方法、人員の確保、受け皿となる団体など今後解決しなければならぬさまざまな課題などがあると思うので、情報収集を図りながら調査研究に努めたいと考える。

議員
これから国体、オリンピック・パラリンピックなどの行事もあり、その補助や正式な立場、資格を持っている人がやるという姿勢を見せることによって、世界に誇れるおもてなしの心を持つ市になればと思っている。



安全な登下校のための整備を

通学路の環境整備その後の対応と対策について



議員 平成29年2月定例会議に質問した通学路整備の進捗状況を伺う。

教育部長 平成27年度から29年度までに提出された改善要望112件中、既に59か所を改善し、今後の対策予定は19か所である。

議員 常総工事事務所や警察の対応は比較的早い対策をしているが、市の対応が遅い事案がある。私が見て1週間できる簡単な整備が、なぜ進まないのか。また、今後の大雪対策を伺う。

学校教育課長

整備については、関係課と強固な連携をもって取り組む必要があると考え、連絡を密にして強くお願いをしていく。また、大雪対策では通学路が市内全域にあるため、道路管理者だけでなく、すべての除雪は難しく、教育委員会の職員が除雪した箇所もある。今後は、地域の皆さんにも自宅前の除雪をお願いするなど、体制を整えていきたい。

議員

北海道有料道路の時間帯無料化で一部の通学路の安全確保や渋滞緩和がされた。しかし通学路は市内全域にあり整備を市民や児童・生徒が待っている。今後どのように進めていくのか。

市長

通学路の現状や地域の要望は、議員と同じ思いで受け止めており、市民の皆さんには、予算がないからできないのではなく、理由があつて順番がこうなるという説明をできるように、危険度を加味した通学路優先の明確な箇所付けの仕方を示して、予算付けをしていきたい。

議員

市内の通学路の安全を、市長に託す。子どもたちの安全の確保をしっかりとお願いしたい。

□ 殿 園 園 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問



公共交通がカギ

公共交通の利用状況と今後の運営について



便性の向上に努めたい。

議員

社会福祉協議会の9時から4時までの受付体制が悪いのではないかと。これを改め随時受け付けできるタクシー会社に委任してどうか提案する。次に広域連携による公共交通について、発足した検討会議ではどのような議論がなされているのか。

総務部長

広域連携による公共交通は、検討会議に参加する自治体が地域内の交通を優先的に運行させたいという意向から、なかなか連携の実現には至っていない。引き続き検討会議などで実現に向けた協議を行っていきたい。

議員

福祉タクシーの利用条件を拡大できないか。例えば、3人家族の65歳の方で、同居する家族2人が日中働きに行っている場合は、福祉タクシーを利用できないということになるが、病院に通う時間帯一人であることの証明を条件に認めるべきでは。

保健福祉部長

一人暮らしで市外の病院に行く方だけを対象としているが、高齢者の移動手段としては弱い点があるため、ご指摘の点も含め全体的に検討していきたい。

総務部長

デマンドタクシーの利用状況は、21年から運行し年々利用者が減ってきており、現在年間2万人を切る推移である。利用者からは、利用しにくいとの声が多いが、どのような改善策を考えているのか伺う。

議員

デマンドタクシーの効率的な運行の実現には個人情報を取り扱ったシステムが必要なことから、社会福祉協議会に運営を委託している。これからも利用者ニーズや社会情勢を考慮して利

坂野 茂実 議員

倉持 守 議員

愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ



市の歴史的遺産の認定及び歴史的資料の継承について



議員 市の遺産認定制度については、26年11月に質問したが、調査研究を行い検討するとの答弁であった。その結果を伺う。

教育部長

市では、認定という部分で職員の見識や真贋の判断等専門性を重く考え実施に至っていない。

議員

江戸後期から昭和にかけて水海道が隆盛を誇っていた時代、教育者や文化人、政治家が数多く輩出されていた。その時代背景をひも解き、遺産や偉人の精神を継承する事が現代に生きる我々の使命であり、再興の道と考えるがどのように考えるか。

教育部長

先人の事蹟を後世に継承することは、行政の責務のひとつであり、積極的に考えていきたい。

議員

当市に関連する偉人として、巢鴨プリズンに巢鴨学園を創立し、水海道市の教育長や水海道町議を務めた沼尻茂氏、私立学校菁莪学館を創立した安藤誠氏、土浦の常総学院の創立者の渡辺嘉重氏、水海道一高を誘致した渡辺華州氏などが挙げられる。また、大正時代にフォードの消防車を輸入した宝町町民、水海道小学校や警察署を寄付で建設した商人や町民も活躍した。そして、これらの史実を記す著作として沼尻茂氏著『楽苦我記』、小林正明氏著『安藤誠と菁莪学館』、石塚安一郎氏著『折りにふれて』、海老原良夫氏著『常総の隠れた英雄 鈴木頂行とその時代』などがある。行政として、これらの郷土の歴史的遺産や偉人の精神を継承するための具体案を尋ねる。

市長

郷土史を市の遺産として市民と共有できるよう、空き店舗などを活用して、街全体を郷土史館として利用できるようにしていきたい。

問 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 質 問

水害でコメ作りをやめた農家の数は？



農業問題について



議員 水害で米作りを辞めた人の数は何人か。

経済環境部長

27年度8月時点での市内の水稲生産農家戸数は3908件、水害翌年の8月は3693件で215件の減少である。水害が直接の原因か否かという把握はしていない。

議員

米作りは基幹産業である。水害が原因で辞めた農家の数を正確に調べて記録として残すよう要望する。また、現代の子ども

たちに、アトピー性皮膚炎やアレルギー、花粉症等がふえており、農薬や除草剤を最小限に抑えることが求められている。おいしくて安心安全な減農薬米「めぐみちゃん」を圏央道インターチェンジの道の駅での売りにしたかどうか。手間のかかる減農薬米をつくる人をふやすには補助を増額すべきだ。

経済環境部長

「めぐみちゃん」の栽培農家数は11軒、10アール当たり3000円の補助の交付は継続し、増額は検討する。

議員

インター開発の公共事業には5億円の予算。米の価格保証である生産調整推進対策事業費の良品質米助成は1100万円分減額された。減農薬米を作る新規の人をふやすには補助を増やすべき。また、減農薬米を学校給食に使えないか。

経済環境部長

学校給食への地産地消の取り組みの中で協議していく。

議員

減農薬米の給食での使用は、初めは小学校1年生から始めるとか、作る人をふやしながらか、給食への使用量もふやす計画的な取り組みを進めてほしい。



自ら学ぶ力を

アクティブ・ラーニングについて



議員
アクティブ・ラーニングとい

うのはどういう背景をもとに、
こういう言葉が成り立って、現
在行われているのか。また今後
どうなっていくのかを伺う。

教育長

26年に初等中等教育課程につ
いての中教審の諮問の中で出て
きた。既存の知識を詰め込むの
ではなく、その知識を使って新
たな課題を発見し、それを解決
する力というような規定がされ
た。主体的、協働的に学ぶ学習
を、いわゆるアクティブ・ラー

議員

ニングと言っている。教育委員
会では、深い学びができる、そ
んな授業改善に取り組んでいる。

教育長

教育長が言われたような主体
的な活用の仕方ができない。例
えば我々は中学校、高校、大学
で英語を学ぶが、話せない。知
識として読む、書く、理解する、
これはできる。ところが話せない。
いざとなると活用できない。
活用というのは、これをベース
にして学び、会話する。社会通
念上というコミュニケーション、
カンバセーション、要するに英
会話、そういうものができない。
知識をどんどん吸収する、その
データベースをいかにして活用
し鍛えていくか、またスキルア
ップしていくか伺う。

議員

膨大な情報社会において、負
けずに生きていける子どもたち
を教育していただきたい。

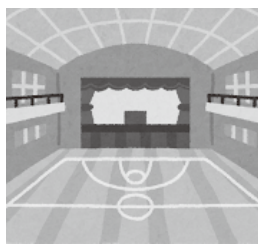
常総ほつとサタデー教室は、
アクティブ・ラーニングかもし
れない。先生は教えない。子ど
もが勉強したいものを自主的に
持つてくる。未来をつくる子ど
もたちがコミュニケーションを
通して絆を深める情操教育に先
生方も力を入れている。

□ 殿 園 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 園 問



手数料は適正か

自治体が自治体でなくなる「公共施設等総合管理計画」批判



議員

全国の自治体は公共施設等総
合管理計画、こういう名のもと
で公共施設あるいは公共サービ
スの統廃合、これが強行されて
いる。今の流れというのはもう
自治体の公共施設は古くてだめ
なんだと。その維持費管理から
すべて含めてお金を出させる住
民負担の考え方は、やはり問題
である。特に学校開放で使用し
ている青少年に対する健康、体
づくり、あるいは仲間づくりと
いうものに対しては今度は維持
費を300円も取るわけだから

総務部長

1年間通すと何万円にもなる。
これは即刻やめるべき。

議員

安心・安全な公共サービスを
提供し続けることは、自治体の
責務であり、そのためにも公共
施設総合管理計画に基づき、適
正な施設管理を行い、変化し続
ける社会情勢や市民ニーズに対
応し、持続可能な行政経営を行
つていくことが必要と考える。

総務部長

国の方針をなぞっているだけ
で、安心・安全なんていうのを
言っているが、受益者の問題は
地方財政計画にもうたわられて
ない。市の場合は受益の立場を
わざわざ入れている。公共サー
ビスというが、利用している人
利用していない人の区別をつく
るのは、間違いだろうと思う。

議員

公共施設を利用する人と利用
しない人の負担の均衡というこ
とを考え、受益者負担をお願い
している。



合併特例債の使いみち

合併特例債事業の実績と今後の計画



中村 安雄 議員



持っている分が7割と聞いており、総額の1割でこの道路は完成することになる。また、市では3分の1の持ち出しに対して西幹線は7割が補てんされる。そのようなものはほかにもあるのか。学校建設などについては、別個にお金があてがわれている。そういった面での補助事業はどうなっているのか。

総務部長

県の支援は、合併支援道路が対象となる。元利償還金の交付税算入額の残りの7割を県で補助することになり、約1割が市の負担となる。西幹線整備事業、つくば下総広域農道事業の2本が合併支援道路として補助対象になっている。学校事業に関しては、国庫補助金を使用するほか、通常債よりも有利な合併特例債を使用している。

議員

圏央道に対する開発、こういったことも大事な事業であると思うし、工業団地に対する企業の誘致なども大変大事な役割と、思っている。新進気鋭の市長にも一言願いたいかがか。

市長

合併特例債を無駄なく使い、自主財源の創出に工夫をこらし、財源確保に努めていきたい。

議員

西幹線道路については、県が

総務部長

合併特例債は、いろいろな使いみちがあると思うが、まだ支出していない10数億円の使いみちや内容について説明を願いたい。

議員

問 質 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 質 質 問



水海道排水機場の行方

水海道排水機場の件



喜見山 明 議員



なので修理等が必要になるが、農政サイドの補助による改修は難しく、県の河川課からも難しい旨の話は聞いている。また、農地の湛水防除が目的のため、治水目的となると目的外になり、国とのさらなる協議が必要。国・県などの関係機関との密なる調整をし、今後、総合的な排水対策の中で水海道排水機場についても検討していきたい。

議員

県でもうまくいかない状況なので、市民としては早急に修理して稼働できる状況にしてみたい。不安で眠れない。一日も早く、国へのつながりなどを願う。市長いかがか。

市長

八間堀川の樋管や旧八間堀川の樋管、水海道排水機場を総合的に勘案して、地域住民も含めたタイムラインの作成、3月には防災訓練も計画している。昨年、台風21号のようにならないよう関係機関と連携したい。

議員

市民としては、いつ災害が来るかわからないので、一日も早く進めていかないと、安心した生活ができない。よろしくお願ひしたい。

都市建設部長

現時点では運転できない状態

議員

どのように市で管理していくのか、県のほうに移行していくのか、それとも国へお願いするのか、考え方を聞かせてほしい。

経済環境部長

水海道の排水機場は、今後、どのような形になるのか伺う。土地建物等を所有する江連八間土地改良区から、宅地化が進み農地の湛水防除の役割は終わったとして機場を市に移譲したいと相談され協議を進めている。



資料・経費のダイエツトを

ペーパーレス化について



議員
庁内を見ても、予算書や議案書など、かなりの紙資料がでていると思われる、ペーパーレス化を進めることによって経費削減などが見込まれる。現在、市におけるペーパーレス化の現状と今後の展開について尋ねる。

市長公室長
地域情報化計画の中に位置づけて、全庁的に推進している。高齢福祉課では介護認定審査会に昨年からは会議システムを導入したことにより、それまで大量に使用していた紙の削減と事務

作業の効率化が図られている。また庁議及び部課長会議には、今年度内にペーパーレス会議のシステムを導入する。これにより印刷経費の削減に加え、会議進行の円滑化や資料の効率的な管理や利便性も大きく向上する。今後は、各種会議や研修会などにこのシステム利用を広げ、引き続き全庁的に推進していく。

議員
単純に紙、インク代だけの金額は微々たるものかもしれないが、作業事務に対する人件費も大きいのではないかと。その作業事務に当たっている時間を一分でも一秒でも市民の方へのサービスに職員が取り組める体制を作り、ペーパーレス化をもっと積極的に進めていっていいのではないかと。また、今後、議会と執行部とのスピーディーな情報の共有、伝達をより強くしていく必要がある。ペーパーレス化を含めた今後の展開、市長の考えを尋ねる。

市長
時代に合った形で、スピーディーにお金をかけない情報共有の仕組みは、今後も需要が高まってくる。庁内全体に、また市民の皆さんとの情報共有を積極的に進めていきたい。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問



健全な業務委託へ

常総市の業務委託の実状について



議員
設の一括した包括施設管理業務の導入を検討している。現在99の施設を16課にまたがり維持管理を行っている。一括管理することにより分割管理されていた職員の施設管理が省力化され、施設管理以外の行政業務に注力でき、さらなる市民サービスの向上へ寄与することができる。

議員
短期的なものや長期的なものもあると思うが、長期的契約は主にどのようなものがあるか。特に高額と思われるものは、金額的にどのくらいの予算か。

総務課長
代表的なものとして、庁舎管理の業務委託があげられ、市有施設管理業務で、4千4百98万円である。

議員
市が現在、外部に業務委託している事業者数はどれくらいあるか。予算・決算だけみていると、どこに何を委託しているのかがわからない。今後もどんな管理業務を委託するという方向性で考えているのか。

総務部長
29年度に市がこれまで発注した業務などの委託契約件数は278件。共通する主なものは、清掃管理、火災報知器や浄化槽などの設備の保守管理があげられる。費用対効果では、公共施

議員
業務委託や統廃合などますます業務委託をふやしていくのかどうか。やむを得ないかもしれないが、これだけは意地でも市民サービスのためにも低下させるわけにはいかない。守っていくんだという、そういうものを考えながらやってほしい。

市長
市民サービスを向上させるために包括管理委託を積極的に進めていく。

関 優嗣 議員

新田 宏安 議員

産婦人科をみんなで誘致しよう



産婦人科医の設立進捗状況について



茂田 信二 議員



議員
この問題は以前から数回質問している。坂東市では、市を挙げて産婦人科の誘致に取り組んでいる。常総市には産婦人科がない。だから広域で設立するようにしたらどうかと提案した。その後、どのような話し合いがなされたか、どのくらい進んでいるのか。

保健福祉部長
複数の市町村で誘致すれば、予算的にも軽減できるとの意見があった。現在市で取り組んでいる広域連携、定住自立圏構想

で、ワーキンググループ会議の協議案件として提案している。具体的協議はこれからという現状です。きぬ医師会でも本市出身の産婦人科医と坂東市の奨学金による養成中の医師との連携により開設の可能性について検討している。引き続き可能性に向けて協議検討を重ねていく。

議員
努力しているのは分かるが、若い人を定着させるといことは、近くに雇用のある工場や会社があることがまず条件。2番目にお産するところ、次に子どもたちの教育。そのような施設がないところに誰が住むのか。受け皿がなければ誰も来ない。遠いところでは不安だ。市長に尋ねる。

市長
2人の方が地元に戻って、産婦人科医をやりたいという話しを聞いており、このかたがたを大事にして何とか産婦人科の市内での開業実現に向けて、一步努力を重ねたい。

議員
実際に実行して実現しなければいけない。嘆願書や要望書などの署名をもらったかどうか。市の職員だけでなく、私も先頭に立って協力します。

問 質 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 質 質 問

次世代に先送りしない



常総市公共施設について



大澤 清 議員



困難な状況にある。総合管理計画からさらに踏み込んで、具体的な施策の最適化を目指して個別計画の策定を含めて、次年度以降市内を横断した形で検討を進めていきたいと考えている。

議員
31年度から導入予定の包括施設管理業務委託については、トータルコストは削減するものの委託料が驚くほど高くなるという話だが、その点について説明いただきたい。

行政経営課長
従来の、壊れてから復旧するという事後保全対応から、予防保全に転換される。また、事業者によつては、付加価値として独自の提案や今後の公共施設の更新問題にも対応できる基礎資料の作成も可能となる。そのため、中長期的にはトータルコストとしては削減できるのではないかと考えている。

議員
28年からの40年間にかかる公施設などインフラ資産の更新費用の試算総額が約2761億円であり、1年間当たり約69億円。当市の投資可能な財源としては1年間当たり約38億円以下という試算である。今後、市民サービスを下させずに健全な財政のもと運営するためには、抜本的な改革が求められるが考えを伺う。

総務部長
試算値ではあるが、このまま施設を維持管理していくことは

議員
一時はコストアップする可能性はあるが、長期的に見ればかなりのコストダウンになるといふことだと理解する。現状、市外業者が多くの委託を占めているが、市内の業者は市に税金を納めているので、どんどん採用していただくよう要望する。



自然を守り生かして

菅生沼とその周辺地域の活性化について



議員
 当市の自然豊かな菅生沼とその周辺には市の天然記念物に指定されたタチスミレや18種もの絶滅危惧種が生息している。現在水域面積の減少問題など環境の保全が喫緊の課題である。市が把握する状況と、市で行う事業があるのか伺う。また、どのように菅生沼を位置づけているのか。

総務部長
 菅生沼は、首都圏でも自然観察ができる数少ない観光スポットである。当市にとって菅生沼

は貴重な地域資源である。現在県があすなるの里と自然博物館をつなぐ棧橋の架けかえ工事を行っているほか、地元の団体などにも環境整備に協力をいただいている。また「じょうそう未来創生プラン」で菅生沼周辺地域を環境保全ゾーンとし、今後自然環境の保全に努めるとした位置づけである。

議員
 保全と言うのであれば、今何かしらの手段を考えなければ絶滅危惧種が失われるのは必至である。当市において、保全も含め、周辺地域を活性化するような計画や展望などがあるか。

総務部長
 この地域は景観に大きく影響を及ぼす行為は厳しく規制されている。リゾート地のように開発する予定はない。しかし今後地元団体と環境の保全に努め、貴重な地域資源を生かし人が集まる仕掛けを検討し、あすなるの里や自然博物館と連携し訪問客の増加につなげていきたい。

議員
 難しい問題だが、本当に多くの方の知恵や力を出し合っ、前向きにこの菅生沼の保全と良さを広めていくことに注力していただきたい。

平成30年2月定例会議

平成30年常総市議会（2月定例会議）が、2月28日から3月22日までの23日間の日程で開かれました。

今定例会議には、平成30年度一般会計予算を含む議案39件を市長が提出。初日の本会議で提案理由の説明があり、後日、議案質疑を行い、各常任委員会、予算特別委員会に付託され、各委員会（分科会）において詳細に審議がなされました。

最終日には、市長から人事案件1件が追加提出され採決の結果、予算を含む議案39件、人事案件1件が原案のとおり可決・同意了承されました。また、請願2件のうち、1件は採択、1件が趣旨採択となりました。最後に、議会改革特別委員会の委員長から議会活動・議員定数等及び経費の検証に関する最終報告があり、承認されました。

議案第70号

常総市すくすく医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について

この条例の一部改正は、従来、

審議結果

マル副制度で所得制限を超えた小児と、常総市在住の中学1年生から高校3年生を対象としていたすくすく医療費の支給を、平成30年4月から、高校生に限らず「保護者に生計維持されている高校生相当年齢のもの」に対象を広げるものです。今回の拡充により高校生相当年齢の子を養育する親を経済的に支援し、少子化対策の充実に推進することを目的としています。

議案第72号

常総市いじめ防止対策委員会条例について

この条例は、教育委員会の付属機関として常総市いじめ防止対策委員会を設置し、その組織、会議等については必要な事項を定めるものです。これは、いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの防止等の対策を実効的に行い、いじめによる重大事態等の発生を防止することを目的としています。対策委員会の委員の任期は3年とし、いじめの防止等に関する知識及び経験を有する者5人以内で組織するもので、教育委員会の諮問に応じ調査及び審議を行いその結果を答申すると規定しています。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	議案名	関 優 嗣	大 澤 清	坂 野 茂 実	寺 田 洋	堀 越 輝 子	小 林 剛	新 田 宏 安	倉 持 守	坂 巻 文 夫	中 村 博 美	岡 野 一 男	遠 藤 正 信	中 島 亨 一	茂 田 信 三	喜 見 山 明	石 川 栄 子	水 野 昇	中 村 安 雄	堀 越 道 男	風 野 芳 之	審 議 結 果	
議案第60号	常総市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第61号	常総市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第62号	常総市個人情報保護条例及び常総市情報公開条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第63号	常総市手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
議案第64号	常総市営公園墓地の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第65号	常総市介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
議案第66号	常総市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第67号	常総市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第68号	常総市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第69号	常総市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第70号	常総市すくすく医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第71号	常総市後期高齢者医療に関する条例及び常総市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第72号	常総市いじめ防止対策委員会条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第73号	常総市文化芸術振興条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第74号	常総市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第75号	常総市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第76号	常総市動物の愛護及び管理に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第77号	常総市開発行為手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
議案第78号	市道の路線の変更について（3807）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第79号	市道の路線の変更について（西926）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第80号	市道の路線の変更について（西927）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第81号	市道の路線の変更について（東467）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第82号	平成29年度常総市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第83号	平成29年度常総市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第84号	平成29年度常総市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第85号	平成29年度常総市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第86号	平成29年度常総市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第87号	平成29年度常総市大生郷特定公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第88号	平成29年度常総市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第89号	平成30年度常総市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は採決に加わらない

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	議案名	関優嗣	大澤清	坂野茂実	寺田洋	堀越輝子	小林剛	新田宏安	倉持守	坂巻文夫	中村博美	岡野一男	遠藤正信	中島亨一	茂田信三	喜見山明	石川栄子	水野昇	中村安雄	堀越道男	風野芳之	審議結果	
議案第90号	平成30年度常総市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第91号	平成30年度常総市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第92号	平成30年度常総市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄	×	○	○	×	○	可決
議案第93号	平成30年度常総市介護サービス事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第94号	平成30年度常総市公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第95号	平成30年度大生郷特定公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第96号	平成30年度常総市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第97号	平成30年度常総市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第98号	常総市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第99号	常総市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて（岡野克巳氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
請願第5号	大塚戸町松山地区の道路整備に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第6号	石下武道館使用期限延命強化もしくは新建設願に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
推薦第5号	子ども・子育て会議委員（堀越道男議員）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦
	まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員（堀越輝子議員・小林剛議員）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦
	青少年問題協議会委員（関優嗣議員・大澤清議員・坂野茂実議員）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦
	社会教育委員兼公民館運営審議会委員（中村博美議員・寺田洋議員）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦
	教育支援委員会委員（坂巻文夫議員）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦
	学校給食センター運営委員会委員（岡野一男議員・喜見山明議員・関優嗣議員）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わらない

《会議の欠席等の状況》

3/7 遠藤正信（早退） 3/8 茂田信三（遅参），寺田 洋（遅参） 3/12 坂巻文夫（欠席），坂野茂実（遅参） 3/13 寺田 洋（遅参）

●●● 平成29年度行政視察受け入れ状況 ●●●

1	4月18日(火)	北海道十勝町村議会議長会	● 関東・東北豪雨災害について
2	5月17日(水)	大阪府摂津市議会 総務常任委員会	● 関東・東北豪雨災害について
3	5月18日(木)	佐賀県鳥栖市議会 建設経済常任委員会	● 圏央道インターチェンジ周辺整備事業
4	7月12日(水)	京都府綾部市議会 総務教育常任委員会	● 関東・東北豪雨災害について
5	7月19日(水)	北海道池田町議会 総務産業常任委員会	● 関東・東北豪雨災害について
6	7月27日(木)	京都府福知山市議会 議会運営委員会	● 議会運営全般について ● 通年議会について
7	8月3日(木)	京都府京田辺・木津川・八幡市議会合同公明党議員団	● 関東・東北豪雨災害について ● 常総ほっとサタデー教室
8	8月9日(木)	北海道砂川市議会 総務文教委員会	● 新庁舎建設の経緯及び概要について ● 市庁舎の被災状況とその後の対応
9	10月4日(水)	千葉県芝山町・多古町議会 議員連絡協議会	● 常総インターチェンジ周辺地域整備事業
10	10月11日(水)	徳島県吉野川市議会 薫風会（会派）	● 関東・東北豪雨災害について
11	10月19日(木)	北海道稚内市議会 総務経済常任委員会	● フィルムコミッション事業について
12	11月6日(月)	福岡県福岡市議会 都市問題等調査特別委員会 静岡県清水町議会 新生会（会派）	● 関東・東北豪雨災害について
13	11月15日(水)	古河市議会 議員2名	● 関東・東北豪雨災害時の避難所対応について
14	12月25日(月)	愛媛県新居浜市議会 市民経済委員会	● マイタイムラインについて
15	1月17日(水)	京都府京田辺市議会 総務常任委員会	● 関東・東北豪雨災害について
16	1月24日(水)	福岡県古賀市議会 自由クラブ（会派）	● 飛び市街化区域編入による土地利用について（常総IC周辺整備事業）
17	2月1日(木)	山形県鶴岡市議会 政友公明クラブ（会派）	● 関東・東北豪雨災害について

過去の会議録が

みられます

過去の市議会会議録は市ホームページから閲覧することができます。ぜひご利用ください。アクセス方法は次のとおりです。

○市ホームページ内「常総市議会」→「常総市議会会議録」をクリックしてください。
市ホームページURL
(<http://www.city.josoci.jp/>)

議会の傍聴ができます

議会の傍聴を希望される方は、市役所議会議棟3階議場廊下に備え付けの傍聴券交付依頼書(傍聴券控え)に記入をし、議場入り口で係員へお渡しください。引換に傍聴券が発行されます。

議会を傍聴する ときのお願ひ

発行された、傍聴券裏面に記載されている傍聴規則を守り、会議の進行を妨げないよう、係員の指示に従ってお静かに傍聴願ひます。

なお、傍聴規則に違反する行為があり、係員の指示に従っていただけない場合、退場をお願いすることもあります。

インターネット映像配信中!!

本会議の生中継(LIVE)をインターネットでご覧いただけます。生中継を見られない場合でも、録画映像(VOD)をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

詳しくは映像配信ページをご覧ください。

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp/>

スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。



QRコード

【アクセス方法】

市ホームページ
↓
常総市議会
↓
議会映像配信



5月定例会議日程(予定)

- 5月30日(水) 第1回会議(本会議)
 - 6月5日(火) 第2回会議(一般質問)
 - 6月6日(水) 第3回会議(一般質問)
 - 6月7日(木) 第4回会議(一般質問)
 - 6月8日(金) 第5回会議(一般質問)
 - 6月11日(月) 予算特別委員会
 - 6月12日(火) 常任委員会(分科会)
 - 6月14日(木) 予算特別委員会
- 第6回会議(本会議)

※正式な日程は5月下旬に開催される議会運営委員会で決定されます。

議長のひとこと

年度の締めくくりとなる議会は、29年度決算であり、30年度予算でもある。議長として役目を果たせたのか…。ふと我にかえる。議長(議会)の責任は大きい。社会(住民)の負託に応えられているのか…。



公六分、私四分の精神でやっているつもりだ。政ばかりでは濟ませないぞ。これからどうするのだ、常総市。

常総市議会議長 風野芳之

編集後記

日中は汗ばむほどの陽気となり、夏の近いことを実感する季節になりました。新年度が始まり、市内各地でイベントなどが行われていますので、是非足を運んでみてはいかがでしょうか？

さて、議会だより編集委員会では、市民の皆様にご覧いただき、また分かりやすく読んで頂くため試行錯誤を重ねております。議会にまつわる情報を最大限お伝えし、議会について一人でも多くの皆様に関心を持って頂き、ご意見などにも反映して参りたいと思ひます。

今後ともご理解とご愛読のほど宜しく御願ひ致します。

大澤 清

議会だより編集委員会

- ・委員長 倉持 守
- ・副委員長 堀越 輝子
- ・委員 関 優嗣
- ・委員 大澤 清
- ・委員 坂野 茂実